

沖縄工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	国語III
科目基礎情報					
科目番号	3002		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	メディア情報工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	教員による独自編成教材・『カラー版新国語便覧』(第一学習社)				
担当教員	澤井 万七美,片山 鮎子				
到達目標					
1 基礎的な日本語を創造的に運用できる能力を身につける。 2 日本の古典文学作品についての理解を深める。 3 社会で要求されるコミュニケーション能力を身につける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限必要な到達レベルの目安 (可)		
基礎的な日本語を運用できる能力を身につける。	独創的な視点を持ち、自らの考えを正しい日本語で表現することができる。	論理的に自らの考えを、適切な日本語を選択しようとしながら表現することができる。	自らの考えを基本的な日本語を使用しながら、表現することができる。		
日本の古典作品についての理解を深める。	古典作品の文法・文学史を踏まえながら、作品世界を自分独自の感性で味わうことができる。	古典作品の文法・文学史をおおむね踏まえながら、作品世界の内容を理解することができる。	古典作品の文法・文学史について、一部理解しながら、作品世界の概要を理解できる。		
社会で要求されるコミュニケーション能力を身につける。	社会人としてのコミュニケーション能力を、場面に応じて使いこなすことができる。	社会人としてのコミュニケーション能力を、おおむね使いこなすことができる。	社会人としてのコミュニケーション能力とは何か理解できる。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	1 学生の主体的活動となる場面を数多く設定し、様々な課題解決のための小論文、文学作品の理解・創作、基本的な漢字能力をみる小テストなど、さまざまな言語理解活動をさせる。 2 文学作品の理解とともに、ゲーム・創作を通して文学作品を楽しむ態度と日本文化とを身につける。 3 言語・非言語両面における社会人としてのコミュニケーション能力を高める。 4 多様な文化・生活様式への想像力を持つ姿勢を育む。				
授業の進め方・方法	講義と演習を併用する。 前期は毎回授業初めに小テストを実施する。				
注意点	基本的に再試験は行わない。 <前期> ・定期試験 30% ・小テスト 5% ・平常点 (課題等) 15% <後期> ・定期試験 25% ・小テスト 5% ・課題 20%				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ビジネス文書①	ビジネス文書の基礎を学ぶ。	
		2週	ビジネス文書②	ビジネス文書の様々な様式を学ぶ。	
		3週	企画書①	企画書の基礎を学ぶ。	
		4週	企画書②	実際に企画書を書いてみる。	
		5週	現代社会の課題①	現代社会の諸問題に関する文章を読み解く。	
		6週	現代社会の課題②	意見文作成のために、調べ学習を行い、下書きを作成する。	
		7週	現代社会の課題③	意見文の下書きを推敲する。	
		8週	中間試験	意見文を一定の制限時間内に作成する。	
	2ndQ	9週	出版について①	社会における言語・文学の意味を考える。	
		10週	出版について②	書籍の出版をめぐる問題を学ぶ。	
		11週	書評①	文学市場の問題と書評について学ぶ。	
		12週	書評②	実際に書評を作成する。	
		13週	メディアミックスについて①	メディアミックスに関する文章を読み解く。	
		14週	メディアミックスについて②	同上	
		15週	前期まとめ	前期の振り返りを行う。	
		16週	前期末試験		
後期	3rdQ	1週	中国の漢詩 (1)	日本文学に深い影響を与えてきた中国の漢詩について学ぶ。	
		2週	中国の漢詩 (2)	日本文学に深い影響を与えてきた中国の漢詩について学ぶ。	
		3週	中国の漢詩 (3)	日本文学に深い影響を与えてきた中国の漢詩について学ぶ。	
		4週	日本の漢詩 (1)	日本で作られた漢詩について学ぶ。	

4thQ	5週	訓読と翻訳	漢文を翻訳するに当たり用いられた訓読について学び、実際に漢詩を翻訳する。
	6週	和歌について（上代）	日本の韻文について、時代ごとの特徴と変遷を学ぶ。
	7週	和歌について（中古）	日本の韻文について、時代ごとの特徴と変遷を学ぶ。
	8週	和歌について（中世）	日本の韻文について、時代ごとの特徴と変遷を学ぶ。
	9週	百人一首を体験する	「百人一首」を体験し、身体の動きを通じて古典文化に親しむ。ただし、グループワークができない場合は別の内容に差し替える。
	10週	歌いものについて	催馬楽、今様など、和歌とは異なる歌の世界について学ぶ。
	11週	連歌と俳句（1）	連歌と俳句の関係について学ぶ。
	12週	連歌と俳句（2）	各時代の俳人と特徴について学ぶ。
	13週	狂歌と川柳	狂歌と川柳について、和歌や俳句との違いと特徴について学ぶ。
	14週	俳句を作る	これまで学んだ内容を生かし、実際に俳句を作る。
	15週	後期の復習	後期の内容を復習する。
	16週	後期期末試験	

評価割合

	試験	課題（レポート等）	小テスト	発表等			合計
総合評価割合	45	45	10	0	0	0	100
基礎的能力	45	45	10	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0